



中学生アイデア部門

未来の仕事 を考える

“未来の仕事”が
あなたが考える
世界を動かす！

アイデア募集中!
応募締切
2023 1月13日 [金]

ナレッジキャピタル <https://kc-i.jp/award/innovation/>

KNOWLEDGE CAPITAL
ナレッジキャピタル

| | |
|------|----------------------------------|
| ふりがな | ■電話番号 自宅 or 携帯(本人) or 携帯(保護者) |
| お名前 | ■メールアドレス |

応募規定、作品の使用及び著作権について、プライバシーポリシーの内容について確認、同意いただいた方はチェックをお願いいたします。 全てに同意する
※ご応募に際していただきました個人情報につきましては法令その他の規範を遵守いたします。プライバシーポリシーについてはこちらをご覧ください。https://kc-i.jp/about/privacy/

第10回 ナレッジイノベーションアワード 中学生アイデア部門 応募要項

ナレッジイノベーションアワードは、ナレッジキャピタルから生まれる多彩なアイデアによる「ナレッジイノベーション」の成果を広く社会に発信する取り組みです。次世代を担うイノベーション人材のアイデアを表彰し、スポットを当て、広く社会に発信することを目的としています。ナレッジキャピタル参画者による多彩な活動を対象とした「ナレッジキャピタル部門」、中学生・高校生を対象に「未来の仕事」についてアイデアを募る「中学生アイデア部門」「高校生アイデア部門」で構成しています。昨年度は、中学生・高校生あわせて9,536のエントリーがありました。

テーマ 未来の仕事を考える **応募資格** 日本国内在住の中学生であること(国籍は問いません)

- [お助けシート「好きを追求したら…」を読む。]
- [HOP: 自分を見つめる]を記入する。
- [STEP: 未来を想像する]を記入する。
- [JUMP: 未来の仕事を考える]を記入する。
- [着地: 未来の仕事を伝える]を記入する。
- 記入した応募用紙を事務局へ送付する。

郵送の場合 本応募用紙を封筒に入れて事務局へ郵送 ※応募用紙は返却いたしません。
送付先 ナレッジイノベーションアワード事務局 〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 ナレッジキャピタル8階 K840 株式会社スーパーフェスティバル内

Eメールの場合 デジタルデータを送信
送付先 kia@kc-i.jp 応募用紙記入面のスキャンデータ等を左記アドレスへお送りください。

※読める解像度、濃さであることを事前に確認してください。※メールの件名に「中学生アイデア部門応募」とご記入ください。※受信確認後、事務局より受付完了メールを送ります。ご応募いただいた3日以内に返信がない場合は、お手数ですが事務局までお電話ください。※メールサイズは5メガバイト以内でお送りください。※本応募用紙の各項目に書かれた内容を元に選考します。表現は、文章・イラスト・図・表など自由です。※ひとり何点でも応募可能ですが、1点あたり1枚の応募用紙でご応募ください。

賞

| | | | |
|--|---|---|---|
| GRAND PRIZE グランプリ: 1名 ほしいものチケット (5万円相当) | GRAND PRIZE RUNNER-UP 準グランプリ: 2名 ほしいものチケット (3万円相当) | SECOND PRIZE 優秀賞: 4名 図書カード1万円分 | HONORABLE MENTION 佳作: 10名 図書カード3,000円分 |
|--|---|---|---|

※ほしいものチケットとは、受賞者の「ほしいもの」を運送する未来応援チケットです。

- 選考基準**
- 世の中の人を幸せにする仕事か
 - 豊かな未来を想像させる仕事か
 - 多くの人が興味をもつ魅力的な仕事か
 - 日本全体、地域を活性化させる仕事か

選考委員

選考委員長 河口 洋一郎
[東京大学名誉教授 / アーティスト / 一般財団法人デジタルコンテンツ協会会長]
コンピューターグラフィックスの世界大会「シーグラフ」で高く賞賛された世界的CGアーティスト。

伊藤 恵理 [東京大学大学院 工学系 研究科 准教授]
「空は一つ」をモチーフに、世界の空を駆けながら、空の旅の裏側に広がる航空管制を科学する研究者。

遠藤 諭 [株式会社角川アスキー総合研究所 主席研究員]
雑誌編集をはじめとして、ITからサブカルまで評論や執筆活動を行ってきた。

大川内 直子 [文化人類学者 / 株式会社アイデアファンド 代表取締役]
文化人類学の方法論を応用した質的調査を数多く手掛ける。

塩瀬 隆之 [京都大学総合博物館 准教授 / デザイン学ユニット / 学術研究支援室 参与]
問いのデザイナーとして、「伝わるとは何か」というコミュニケーションの根源的な問いを研究している。

村上 憲郎 [大阪公立大学大学院 教授 / 元Google日本法人名誉会長]
Google を始めとする外資系企業や日本企業などで経営に携わってきた。

安田 洋祐 [経済学者 / 大阪大学大学院経済学研究科 准教授]
ゲーム理論の観点から現実社会を分析し、様々な制度設計を研究している経済学者。

2023 1/13 [金] 応募締切

※郵送は当日消印有効。Eメールは1月13日23:59まで受付。

公開パフォーマンス・最終選考会(予定)
2023年3月21日(火・祝)

書類選考を通過した17名の方には、3月21日(火・祝) グランフロント大阪にて開催予定の「ナレッジイノベーションアワード 公開パフォーマンス・最終選考会」にご参加いただけます。上位入賞者7名には、当日応募内容のプレゼンテーションを行っていただき、各賞を決定いたします。

※書類選考の結果は、ウェブサイトにて2023年2月下旬に発表いたします。

応募規定

- 応募者は、応募の時点で本応募規定に同意するものとします。
- 応募作品につきましては、返却いたしませんので予めご了承ください。(応募時に各自コピーを保存されることをお勧めします。)
- 応募作品は、未発表のオリジナル作品のみとさせていただきます。
- 応募作品の取り扱い、管理には十分注意いたしますが、不測の事故による損傷については責任を負いかねます。
- 第三者の権利を侵害している作品は、選考対象外となります。受賞後に発覚した場合は、主催者は、受賞の取り消し及び、副賞等の返却請求ができるものとします。

作品の使用及び著作権について

- 応募作品は、第三者の著作権、肖像権、商標権、及び個人のプライバシーを一切侵害せず、公序良俗に反しない作品にしてください。
- 応募作品の著作権及び知的財産権は応募者本人に帰属しますが、主催者判断にてwebサイトや広報誌などでの公開、イベントでの展示に無償で使うことができるものとします。掲載・展示方法などにつきましては、作者との協議の上決定いたします。

主催：一般社団法人ナレッジキャピタル
後援：大阪府 / 大阪市 / 大阪府教育委員会 / 京都府教育委員会 / 奈良県教育委員会 / 三重県教育委員会 / 和歌山県教育委員会 / 兵庫県教育委員会 / 滋賀県教育委員会 / 大阪市教育委員会 / 京都市教育委員会 / 茨木市教育委員会 / 大阪私立中学校高等学校連合会 / 奈良県私立中学高等学校連合会 / 兵庫県私立中学高等学校連合会 / 京都府私立中学高等学校連合会 / 三重県私学協会 / 滋賀県私立中学高等学校連合会 / 和歌山県私立中学高等学校協会 / 一般財団法人大阪教育文化振興財団 / 大阪デジタルコンテンツビジネス創出協議会

ナレッジイノベーションアワード事務局
〒530-0011 大阪市北区大深町3-1
グランフロント大阪 ナレッジキャピタル8階 K840
株式会社スーパーフェスティバル内

☎ 06-6131-6881 (平日10:00~18:00)
✉ kia@kc-i.jp
※選考状況に関するお問い合わせはご遠慮ください。

※50音順

テーマ

未来の仕事を考える

- 自分の仕事を考える前に、まず未来のことを知りたい。
- 今考えている漠然とした将来を一度じっくり考えてみたい。
- 今受けているどの授業でも表現できない未来のイメージを描きたい。

そんなあなたにぜひ取り組んでほしいと思っています。
 上位3名には、未来を応援する「ほしいものチケット」をプレゼントします。
 ぜひ、この機会にあなたの自由な想像力を発揮してみましょう！

| | | |
|-----------------------|----|----|
| 学校名 | 学年 | 年 |
| | (| 歳) |
| もしグランプリをとったら何が欲しいですか？ | | |

- ※ 1 全てご記入ください。
- 2 裏面に氏名など応募者情報を必ずご記入ください。

HOP 自分を見つめる

今のあなたが興味や関心があること、将来自分が活躍したい分野について書いてみてください。また、その理由も書いてみてください。
 ヒント ▶ 「お助けシート 好きを追求したら…」が参考になるかもしれません。

STEP 未来を想像する

未来の生活風景はどのようになっているのでしょうか？20年後の「地球環境」「世界情勢」「社会現象」「生活スタイル」「学校生活」などを想像してください。(表現は、文章、イラスト、図など自由です。)
 ヒント ▶ 未来のことについては多くの人が想像、予測を行っています。
 本、新聞、テレビやインターネットを使って調べてみましょう。

JUMP 未来の仕事を考える

あなたが想像した、20年後の未来にあると思う仕事を具体的に書いてください。(表現は、文章、イラスト、図など自由です。) ※STEPの内容とつながっていません。

ヒント ▶ 未来の生活の様子や仕事をしている風景など、あなたが考えたその仕事について、どのように描けば人に伝わるかを考えましょう。

★ あなたが想像した未来の仕事に名前をつけてください(仕事名・職業名など)

着地 未来の仕事伝える

あなたが考えた未来の仕事について、なぜその仕事ができるのか、その背景を含めて身近な人に伝えてみてください。そして、その人の感想や意見など、聞き取った内容をまとめてみましょう。
 ※感想の内容そのものは、選考に影響しません。

伝えた相手 ▼

※例：友達、親、先生など

好きを 追求したら...



お助けシート

新しい仕事をしている多方面の
トップランナーからのメッセージです。
これらのメッセージには、
未来の仕事を考えるためのヒントが
沢山つまっています。
あなたの想像力を発揮して、
20年後の仕事を描いてみましょう。



宇宙キャスター
榎本 麗美 さん

お仕事の分野 ▼

宇宙 × アナウンサー

「宇宙キャスター」として宇宙の番組やイベントを企画・出演。宇宙を楽しむコミュニティ「そらビ」代表。宇宙教育にも力を入れている。

子供の頃から大の宇宙好き。新潟の祖母宅によく遊びに行き、大自然を駆け回って虫取りをしていたら「ここには多くの生物がいるのに、自分はなぜ人間なんだろう。なぜ地球にいるんだろう」と不思議に思うようになりました。調べてみたら、全てはビッグバンによって宇宙が誕生した事から始まったと知り、宇宙の謎や面白さに夢中になりました。高校では宇宙物理や生物、化学にワクワクし、大学も理系に進み研究職に就こうとしていたところ、友人に誘われアナウンサー試験を受ける事に。「いつか宇宙の番組を！」と夢を抱きアナウンサーになりました。3年前に番組で企画を提案できるタイミングがあり、これを逃すまいとJAXAの方に相談、宇宙番組を実現する事が出来ました。夢が叶うまでに、なんと14年間もかかりました。何度も挫折しそうになりましたが、今では「宇宙キャスター」として多くの宇宙番組やイベントを企画し、出演しています。皆さんも「好き」を極めて、諦めずにチャレンジし続けてみて下さい。きっとキラリと光る未来が見えてくるはずです。



鉄棒ダンスパフォーマー
上西 隆史 さん

お仕事の分野 ▼

無重力 × ダンスパフォーマンス

東京大学を卒業後に、紆余曲折を経て、鉄棒で踊るといふ身体を最も酷使する道に進んだ異色のパフォーマー。

鉄棒ダンスを仕事とする前、私はプロのダンサーでした。ある日、懸垂をしながら空中を歩いているようなパフォーマンス動画をたまたま見て、その無重力感に衝撃を受けました。自分自身がダンサーだったこともあり「歩くだけでも不思議なんだから、これをダンスにしたら最高のエンタメになる！」と、即座にそう直感し、そしてそれを実現させている自分をイメージしました。そこからは、鍛錬と試行錯誤の繰り返しです。何せ、前例がありません。さらに、ダンスと懸垂はとても相性が悪く、懸垂しながら踊ることは、1年続けた当時も現実的ではないような気がしていました。しかし、私は自分の直感と頭の中にあったイメージを信じ続けました。そして3年ほど続けたあたりから「これはいけるかも」と感じるようになったのです。石の上にも三年とは言ったものです。一見華々しく見える私のパフォーマンスでも、実は、地道な努力や苦悩など様々なものがそこに至るまで濃縮されています。苦労や困難も含めて「結果的」に楽しめる事、それが好きを追求していくという事なのかもしれません。



H2L株式会社 代表取締役社長 / 琉球大学工学部 教授
玉城 絵美 さん

お仕事の分野 ▼

IT × 身体感覚

会社経営をしながら、大学教員としてBodySharing研究もしている、文鳥が大好きな引きこもりです。

高校時代に長期入院していた際、家族旅行に行けず悔しい思いをしました。「もしも病院にいながらにして、みんなと同じ体験ができればどんなにいいか」と思ったのが、「BodySharing」の研究のきっかけです。「BodySharing」の技術を使えば、コンピュータからの指示によって人間の手指を動かしたり、人間の手指の感覚を他者やロボットに伝えたりすることができます。将来的にこの技術は、いろいろな人生経験を世界中で共有できる成果になると考えています。実は私は家で過ごすのが大好きで、引きこもり願望もっています。だから、この技術によって、家で過ごしながらも外にいる他人の経験を共有できたら理想的だと思っています。みなさんの実現したいことは何ですか？まずは、自分が実現したいことを考えてみてください。そして、それをテクノロジーによってどう実現できるだろうか、と想像してみてください。そういったところから始めてみるといいと思います。



令和工芸合同会社CEO / ロボティシスト
カ石 武信 さん

お仕事の分野 ▼

アート × ロボティクス

ロボット工学の研究を経て、ロボットを舞台や映画に登場させたり、アート作品にロボット技術を応用したりする仕事をしています。

ある映画に次のような話が出てきます。星が好きなのは、「天文学者になりたいタイプ」と「宇宙飛行士になりたいタイプ」の2つに分かれる。天文学者を目指す子は、安全な場所で不思議なことをじっくり研究して、宇宙飛行士を目指す子は、危険を顧みず自分の目で見たり触れたりすることを目指す、というものです。きっと、どんな仕事でも同じことが言えると思います。僕の場合、ロボットに興味を持った時、ロボットに関わる職業はロボット研究者しか知らなかったのが、大学で研究をしていましたが、その後、自分が宇宙飛行士タイプだと分かってきた頃に、舞台芸術でロボットを使う機会に恵まれました。それ以降、ロボットを舞台や映画に登場させるという実際の現場でロボットの仕事をしています。今は、ロボットを作ることが得意な人と一緒に、ロボットとアートの会社を作り、ロボットと社会の最前線にいます。みなさんも、自分の性格が天文学者タイプなのか、宇宙飛行士タイプなのかを考えてみると、新しい仕事を発見するヒントになると思います。



ラジオDJ / 翻訳家
野村 雅夫 さん

お仕事の分野 ▼

言葉 × カルチャー

イタリア生まれ、関西育ち。大阪のFM COCOLOで、「CIAO 765」(チャオ・ナナログ)という番組を担当。映画字幕や本の翻訳もしています。

ラジオで音楽を選んで紹介したり、ニュースや笑話を喋ったり、文章を書いたり、翻訳をしたり…。僕はこうして色々な仕事をしてますが、目指していたというものは、実はひとつもありません。気がついたら始めていた。どれもそんな感じ。子どもの頃から、音読が好きでした。自分の考えた話をするのも。人の話やラジオを聞くのも。音楽や映画について誰かと語り合うのも。そして、異文化に触れるのも。大学は外国語学部を選択。せっかくイタリアにルーツがあるのに言葉を知らなかったのが、学んでおこうと思ったんですね。ある程度できるようになると、今度は向こうのカルチャーを自分で紹介したくなったので、友達と会社を作って、翻訳や映画の上映会をするようになりました。ラジオでは、そんな僕の人生経験を総動員して毎朝マイクに向かってます。つまり、自分の「好き」を人に言いふらしてまわった結果、今の僕があるんです。不思議なものです。きっとあなたの「好き」も、あなたをどこかへ導いてくれます。ひとつだけ助言するなら、「好き嫌い」は控えめに。食事と同じですよ。あなたの未来に幸あれ！



起業家 / クリエイター
深澤 研 さん

お仕事の分野 ▼

テクノロジー × 世界観

VR/ARコンテンツの開発や、没入体験型エンターテインメント施設「ティフォニウム」の運営を行うティフォンを運営しています。

幼い頃、できたばかりの東京ディズニーランドでホーンテッドマンションを体験したことが今の仕事の原点となっています。日常とは全く異なる世界が本当にあるように感じ、自分もいつかこのような世界を作りたいと思いました。VRという技術が出てきたことで、広大な敷地や巨額の開発費がなくても思い描いていた世界を一から作り出せると思い、没入体験型アトラクションの制作を始めました。初めてのことで様々な苦労がありましたが、夢の世界が現実化していくことにワクワクし、苦労自体も楽しむことができました。もし好きという気持ちがなく困難と出会っていたらそれ以上進むことはできなかったかもしれません。遠くまで行けるのは足が速い人でも、体力のある人でもなく、歩みを止めなかった人です。誰のどんな道でも困難と出会うと思いますが、他の誰でもなく、自分自身の純粋な「好き」という気持ちを起点にして道を選んではいけない、その困難も含めて素敵な旅になると思います。



ToLLRiDe(トリデ)代表
三島 鉄兵 さん

お仕事の分野 ▼

故郷愛 × 執念

映画『神在月のこども』ロケーション監督・プロデューサーで、島根県のふるさと親善大使「遣島使」です。

私は、家族・親族・仲間達が喜ぶ顔を見ることが大好きです。とてもシンプルですが、社会貢献というものも身近なところから生まれると考えています。コミュニケーションツールもSNSを中心に飛躍的な拡張が続けていますが、私はリアルな繋がりを最も大切にしています。それは喜んでくれる表情をこの目で見て、私自身も喜び合いたいからです。「大好きな方々と、心から感動し喜び合えるシーンを1つ作りたい。」この気持ちと真っ直ぐに向き合い、総合芸術と呼ばれる映画をこの世に一本生み出す事が出来たら！と、挑戦を決めました。どんな道を選んでも茨の道となるのなら、一過性の出来事では本当にもったいない。後世にまでずっと語り継げるコトを興したい！そう奮い立たせてくれるヒトが周りに沢山いてくれた事が財産であり、その気づきが大きな原動力となりました。結果、映画『神在月のこども』は2021年に全国192劇場で公開。2022年からはNetflixで全世界190カ国に配信で週間ランキング世界総合8位という出来事を生み出しました。何にしても、自身が感動できないことで、相手を感動させることは出来ません。「好き」の延長線上にある「感動」を追求することや、執念によって景色が変わります。自分だけの様々な景色を、これから沢山見て下さい！